新聞　令和2年7月12日(日)　第3種郵便物認可　道新(朝刊)

諦めかけた「夏」到来

高校野球独自大会開幕

市函館など初戦突破

2020 夏の高校野球大会 函館支部

新型コロナウイルスの影響による今夏の全国高校野球選手権大会と地方大会の中止に伴う、道内独自の代替大会の函館支部大会（道高野連主催）が11日、函館オーシャンスタジアムで開幕した。この日は1回戦3試合を開催。七飯・八雲・大野農の渡島連合は函水を6―5で破り、函大有斗は4―0で檜山北に勝利。市函館は6―3で函西を下した。大会は感染防止のため、観戦者を部員や家族に限定。スタンドからの吹奏楽の応援や声援はなかったが、選手たちは一度諦めかけた「夏」の舞台で熱戦を繰り広げた。（和田樹）

〔市函館―函西〕一回1死二塁、右越え適時打を放つ市函館の4番石川（中本翔撮影）

渡島連合は六回、7番石川の右越え三塁打などで逆転。同点に追いつかれて迎えた九回、2死満塁で6番木田が勝ち越し打を放った。函水は2点を追う九回、3者連続安打で追いすがったが、及ばなかった。

函大有斗は初回、2番小浜の犠打と4番本田の適時打で2点先制。三回と六回にも加点し、逃げ切った。檜山北は相手打線を上回る8安打を放ち、四回と五回は得点圏に走者を進めたが、あと一本が出なかった。

市函館は初回、3番中野の適時打で先制。七回に再び中野が適時三塁打、九回も7番細川の2点適時打で加点した。函西は七回、4番小沢の適時打などで1点差に迫ったが、及ばなかった。

▽Aブロック1回戦

七飯・八雲・大野農	0	0	0	1	1	2	0	0	2	6
函水	0	1	1	0	0	1	1	1	1	5

▽Bブロック1回戦

檜山北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
函大有斗	2	0	1	0	0	1	0	0	X	4

▽Cブロック1回戦

市函館	2	0	0	0	0	0	2	0	2	6
函西	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2

力出し切った

函水の2番佐藤（3年）＝写真＝は2点を追う七回裏、中越えの適時二塁打を放ち、1点差に迫った。休校中も1日1時間以上の素振りを欠かさず、この試合では4打数3安打と活躍。「逆転できなかったが、最後の大会で力を出し切れて良かった」と笑顔を見せた。

役割果たせた

函大有斗の1番福島（3年）＝写真＝は初回に先頭打者で二塁打を放ち、先制のホームを踏んだ。三回にも右越え三塁打で好機をつくり、勝利に貢献。「1番打者の役割を果たせた。甲子園はなくなったが、目指す南大会に出て活躍したい」と力を込めた。

最後の夏充実

函西の黒坂元主将（3年）＝写真＝は、選手14人のうち1年生が8人の若いチームをまとめた。全体練習ができない間、無料通信アプリ「LINE」で個人練習の内容を共有。「結果は出なかったが、仲間と最後の夏を戦えてうれしい」と充実した表情を浮かべた。